

施工要領書

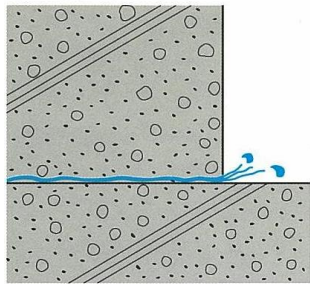
【水分硬化発泡性止水剤注入】

株式会社Style-S

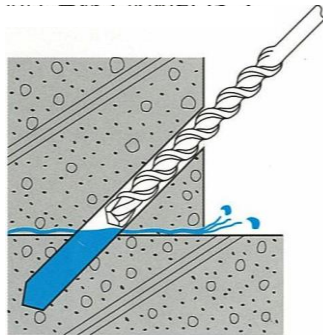
■ 施工手順

施工手順	施工内容	仕様機材・材料
漏水・ひび割れ部確認	漏水箇所を確認し原因となっているひび割れや打ち継ぎまたはジャンカ等の範囲を調査	打診ハンマー
マーキング	注入位置はクラックや打ち継ぎ部が対象となるので、これらをよく確認して注入箇所を決定する 注入間隔は15cm～20cm	チョーク等
注入孔穿孔	注入孔はクラックにそって5～10cm上からクラックを縦断して45度の角度で10cm～40cmの長さに穿孔する。 注入用専用プラグを使用する場合は太さΦ10mmの孔をドリルで開ければよい。	ハンマードリル
注入用専用プラグ取付	注入用専用プラグを孔に差込み、ナットを回して抜けないように設置する	レンチ・インパクト等
水分硬化発泡性止水材注入	油圧は高圧ポンプ等でゆっくり行う	電動高圧ポンプ等
注入終了	薬液のクラック表面へのリーク又は圧があがり薬液が入らない場合は注入終了とする	
注入用専用プラグ撤去	注入完了後、注入材の硬化を確認後注入用専用プラグを撤去	
樹脂モルタル整形・仕上	樹脂モルタル等で穿孔穴を塞ぎ仕上げを行う	樹脂モルタル等
清掃	あふれた注入材をかたづけ施工箇所を清掃する	

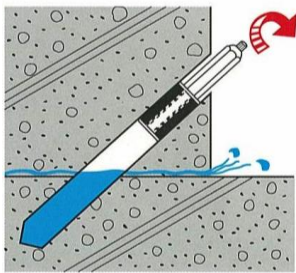
■ 施工工程区



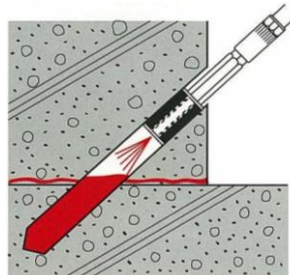
① 漏水部位確認



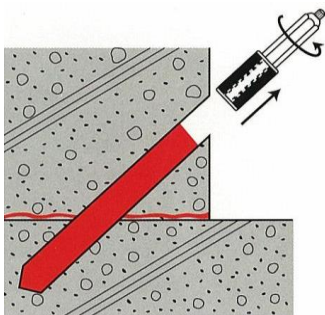
② 注入孔穿孔



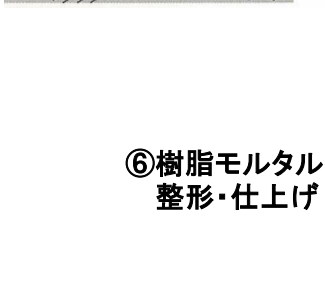
③ 注入用プラグ設置



④ 水分硬化発泡性
止水材注入



⑤ 注入用プラグ撤去



⑥ 樹脂モルタル
整形・仕上げ

■ 施工フロー

